



a for biz Case Study

番組制作カメラの新定番 ハンディカムコーダー『PXW-Z200』は 技術と制作の垣根を越える



株式会社TSSプロダクション

<https://www.tss-pro.co.jp/>

広島市を拠点に、おもに株式会社テレビ新広島の番組制作を手掛ける株式会社TSSプロダクション様は、2025年3月にXDCAMメモリーカムコーダー『PXW-Z200(以下、Z200)』を導入、運用を開始されました。株式会社TSSプロダクション 取締役 兼 技術本部長 大谷 裕一郎 様に、『PXW-Z200』導入の決め手や魅力、実際の使用感などをお伺いしました。

カメラマンだけでなく、制作スタッフも手軽に使える ハンディカムコーダーを検討

探していた、『NX5R』の後継

大谷 当社は、親会社である株式会社テレビ新広島の番組制作全般を主軸としながら、中継車を保有する強みをいかしたスポーツ中継、企業VTR、CM、プロサッカーチームの密着ドキュメントなど、さまざまな映像制作を手掛けています。カメラマンだけでなく、制作ディレクターやADなどの制作スタッフもカメラを回すため、ENGカメラに加え、機動力の高さや使い勝手のよさからNXCAMカムコーダー『HXR-NX5R』(以下、NX5R)を使用していましたが、導入から約10年と時間が経っていたこともあり、機材の更新を検討していました。



株式会社TSSプロダクション
取締役 兼 技術本部長 大谷 裕一郎 様

『NX5R』に対して大きな不満はありませんでしたが、強いて言えば、レンズの引きしろ28.8mm(35mm判換算)がもう少しワイドであれば嬉しい場面はありました。ワイドコンバーターを装着して対応していましたが、それによってカメラの重心バランスが崩れ、前に傾いてしまう。あとは、暗所撮影時に若干ですがノイズが乗ることがあったので、その点も気になるころではありました。

ワイドコンバージョンレンズなしの軽さと AF 性能の高さに驚き

ボディが軽量で重心バランスも申し分なし

大谷 『NX5R』と同等のサイズと重量でありつつ、より高画質で、テレ端からワイドまで幅広く撮影できるハンディカムコーダーを探していたところ、XDCAMメモリーカムコーダーの新製品『Z200』が発表され、「これだ」と思いました。試しに『Z200』を手にしてみると、重量は『NX5R』よりも軽く感じられたうえ、レンズのワイド端が35mm判換算24mmなので、コンバーターが必要なく軽量化でき、重心バランスも崩れない。制作ディレクターでも簡単に撮影できるカメラとして、申し分のない完成度だと思い、導入を決めました。

スムーズに使いこなせる2連リング

大谷 実際に使い始めて、まず驚いたのがAF(オートフォーカス)性能の高さです。人物の顔や瞳を追従するAFはこれまでもありましたが、『Z200』は、被写体の骨格や姿勢などの情報を使ってその動きを高精度に認識してくれます。「後ろ姿の人物や、帽子をかぶった人物もしっかりと追従してくれるので、街歩きのロケでは助かる」と話す制作ディレクターもいますね。

『NX5R』では3連だったレンズリングが、『Z200』では2連に変更されましたが、バージョンアップ(Ver. 2.00)によってレンズリングアサインが可能になり、従来のフォーカス、ズームの2連リングにフォーカス、アイリスまたは、ズーム、アイリスを割り当てることができるようになり、アイリスダイヤルには、ISO/GAIN、自動露出レベル、録音レベルの調整を割り当てることができ、使い勝手がさらに向上したと思います。AF性能が高いため、2連リングにはズームとアイリスを割り当て、フォーカスは基本的にAFにまかせておく、という制作ディレクターも多いです。



フレームレート59.94i収録に対応 で編集作業がより効率的に

大谷 フレームレート59.94iのインターレース収録に対応したことも、今回のバージョンアップ(Ver. 2.00)の大きなトピックの一つではないでしょうか。プログレッシブからインターレースに変換する必要がなく、編集作業を効率化できるのはもちろん、変換にともなう画質劣化のリスクも回避できる。制作ディレクター陣はこのバージョンアップに大喜びしています。



シームレスに調整可能な可変NDフィルターが可能にした完全無人撮影

大谷 画質のよさにも感心しました。当社では、サッカー中継のVAR(ビデオ・アシスタント・レフェリー)検証用の固定カメラとしても『Z200』を使用しているのですが、検証時に映像を拡大してもザラザラ感が少ないうえ、シームレスに調整可能な可変NDフィルターが内蔵されているので、晴れたり、曇ったり、雨が降ったりと、日照が刻一刻と変化しても、オートND機能で、自動で明るさを調整してくれます。以前のように、「ちょっと暗くなったから、NDフィルターを外しに行ってくれ」とアシスタントを走らせることもなくなり、完全な無人撮影を実現できました。高画質な4Kプログレッシブ収録が可能なおも、ほかの中継カメラから切り替えた時の違和感ありません。

『Z200』で広がる撮影表現の幅

大谷 4Kで撮影した映像をHDで切り出して縦型動画を作ったり、その切り出し機能を使って、ツーショットとワンショットを1台のカメラでマルチ収録したり。『Z200』にはまだまだ大きな可能性があり、カメラワークや撮影表現の幅をさらに広げられるのではないかと、とてもワクワクしています。

使用機材紹介



XDCAM メモリーカムコーダー
PXW-Z200

<https://www.sony.jp/xdcam/products/PXW-Z200/>

取材: 2025年7月

>> [法人向け] カメラの商品情報やお客さま事例をご覧ください。 <https://www.sony.jp/camera-biz/>

>> 製品やサービスに関するお問い合わせ https://www.sony.jp/biz/inquiry/form_camera.html

ソニーマーケティング株式会社

法人のお客様向け購入相談デスク ☎ 0120-24-7688 スマートフォン・携帯電話・一部のIP電話からは 050-3754-9483

受付時間/10:00~18:00(土・日・祝日 休み)